

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス青空つばさ			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 11月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日 ～ 2024年 12月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中高生に特化した支援方法や思春期に対応した支援	定期的に子どもの情報共有を行い、その都度支援方法を変更したり、対応方法を変えている。	思春期の心の状態や中高生特有の支援方法などの研修に参加していきたい。
2	子どもたちが安心して活動を行える場所の提供	子どもたちが自分の居場所だと感じれるように写真や作品の展示などを行っている	心の変化により一人になれる場所の数を増やせるように工夫していきたい。
3	保護者対応力	日頃から進んで保護者との交流を意識し、変化に敏感になるよう心掛けています。	どの職員に相談しても大丈夫なように対応力の強化をしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容を話し合う際に意見が出てきにくい	人任せな所やなぜそのような活動を行うかの意思統一があまりできない。	日々の活動内容をみんなで意見を出して、なぜ行うのかや効果などを再確認していきたい
2	保護者対応力	どうしても管理者任せになっている事が多い。	対応力の向上のための研修などに参加していきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス青空つばさ

公表日 2025年1月10日

利用児童数

20

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	3	0	2	中をじっくり見たことが無い 小学生は元保育園なので十分広さがあるが、中高生は民家なので少し狭い様に思う	中高生は体も大きい為狭く感じるので、色々な公共施設を利用していきたい。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	3	常に何人いてくれているか知らない	送迎時など小学生の職員と合同で行っているので分かりにくいので、お便りなどで分かりやすくしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1	0	4	見ていないのでわからない 全てを見学していないのでわからない	・実際に保育現場を保護者の方々が見学される機会が少ない為、わからないと言う意見があったと思われる。契約時での説明や教室開放などで知って頂く機会の確保を行っていきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1	0	4	見ていないのでわからない 全てを見学していないのでわからない	・実際に保育現場を保護者の方々が見学される機会が少ない為、わからないと言う意見があったと思われる。契約時での説明や教室開放などで知って頂く機会の確保を行ってきたい
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1		今一度個別支援計画の支援内容を口頭でも伝えていきたい。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1		今一度個別支援計画の支援内容を口頭でも伝えていきたい。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	2		今後はレクリエーションの研修や新しい活動などあれば、参加していきたい。
保護者へ	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	1		公園や公共施設などを利用した際に交流している
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	2	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	1		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	0	1		今年度は保護者交流会や学習会、親子イベントなどで交流し、支援を行った。今後も継続していきたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	0	2		少し難しい課題や時間をかけて行う課題などを積極的に取り入れていきたい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	1		日々見直しを行いながら、活動計画を作成していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	1		管理方法にはより徹底した方法を進めていく。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	3		避難場所・緊急時の対応における、案内文や説明会においても案内を徹底させる必要がある。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	0	2	学校のような引き渡し訓練をしていないので、実際に起きた時に不安がある	定期的な避難訓練は行っているが、学校並みの訓練までは行えていない。今後は拡声器でのサイレンなどを用いてもう少し本格的に行っていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	0	0		今後も発生した際には速やかに連絡をとり対応していきたい。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		今後も楽しい活動を行ってきたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	2	0	0	土曜日活動を含め本人は行きたがる位楽しみにしている	現状に満足せず、よりよい活動を行っていきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		現状に満足せず、よりよい活動を行っていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス青空つばさ				公表日	2025年1月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	外での活動やくまの子教室をお借りしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0	配置基準より多く配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	玄関に簡易スロープや手すりなどを設置している。	状況に応じて今後も対応していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	子ども達が製作した作品などを壁面などに展示している	自分たちの居場所と感じれるように今後も継続して行っていきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		自分たちの居場所と感じれるように今後も継続して行っていきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		ポイントは抑えているがもう少し細かく伝えていく必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	公表している	ご意見を頂いた項目は職員全体で周知し、今後の改善に努めたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケートなどを実施し、業務改善に努めている	今後も継続していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	未実施		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修の情報などは全職員に提供している。	人間発達講座など研修の機会を提供し、個別での研修も受けれる様に対応している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		今後も随時検討していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	相談員や保護者と面談の際に相談し、適切な支援内容を計画に反映している。	今後も随時相談員や関係各所と意見交換を行い、支援内容に反映していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		全職員に周知できていない場合があるので、改善していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	次月の予定や長期休暇などの予定を職員全体で確認している。	定期的な会議の開催と、業務終了後の雑談の場を今後も大切にしていきたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	子どもたちの状態により、話し合いや支援内容の変更などを行っている	標準化ツールではないが事業所独自のツールを使い実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個人に合わせた支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	次月の予定や長期休暇などの予定を職員全体で確認している。	定期的な会議の開催と、業務終了後の雑談の場を今後も大切にしていきたい。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	土曜日や長期休暇でしかできない特別な活動を取り入れている。	少し難しい課題や時間をかけて行う課題などを積極的に取り入れていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	サービス計画をチームで考えている	日々見直しを行いながら、活動計画を作成していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	その日の活動内容を再度確認し、支援の統一を図る	臨時職員と細かな打ち合わせをより行っていくようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	その日の反省などを当日行い、出来ない場合は次の日に行っている。	全職員に周知していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	個人記録を記載し、今後活用できるようにしていきます。	展開はしているが、定期的なガイドラインの振り返りを進めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	自発管や直接支援している指導員が積極的に情報共有している。	今後もケース会議が必要と思われた場合は積極的に行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1	支援方法を職員全体で協議している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	活動を自己決定できるように日々の活動を自由選択にしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	自発管や直接支援している指導員が積極的に参加している。	今後も関係機関と連携し、ケース会議が必要と思われた場合は積極的に参画していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	積極的に情報共有を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	現在学校・自宅・放デイの三者で情報共有を行っている。	今後も積極的に行っていきたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	定期的に連絡会議を行い、情報共有をしています。	今後も継続して密に連絡を取り合っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		今後も継続して密に連絡を取り合っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	法人内の各事業所と連携、展開を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	公園や公共施設などを利用した際に交流している	今後も積極的に取り組んで行きたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡帳にて共有が出来るようにしています。	より多くの参加機会が出来るように進めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	保護者学習会などで研修の機会を設けている。	より多くの方が参加できるように日程なども考えていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	年に一度機会を設けている	今後もより丁寧に行っていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	交流会や学習会、保護者面談の機会を設けている。 子どもには支援の際に意向を確認している	より機会の場面が作れるように協議していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	アセスメントや面談の際に説明し、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	随時相談に応じている。必要な場合は関係部署と連携を図り、支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者学習会や交流会を行っている	年度末に保護者会を開催予定です。保護者の方が参加しやすい日時などを検討していく必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談員含め関係部署と連携して相談に応じています。	保健師や他事業所などの連携をもう少し密にしていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月に一度のお便りと年に3回の法人全体の通信を出している。	今後も時事ネタを発信できるようにしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	書類等は許可がない限り持ち出さないように指導しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	文章や口頭での対応を行い、丁寧な対応を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	今年度は一度地域の方々にしめ縄を教えて頂いた。 地域の整備活動を依頼してもらっている。	今後も地域とのつながりをもてるようにしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	個別支援計画に記載している。	定期的な避難訓練は行っているが、学校並みの訓練までは行えていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	定期的に行っている。	定期的な避難訓練は行っているが、学校並みの訓練までは行えていない。今後は拡声器でのサイレンなどを用いてもう少し本格的に行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	保護者より情報を頂き、職員全体で周知徹底し、てんかんを持っている子に関しては常に視野に入れるようにしている。	現在医師からの指示書を頂いている子も居るが、今後漏れが無い様にしていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	保護者より年度初めに情報を頂き、対応が必要な児童については指示書を頂き、職員全体で周知している。	対応に漏れが無いか再度確認を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	不審者などの侵入防止などを目的に監視カメラや防犯装置を設置した	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	非常時などの際の連絡方法などを伝えている。	今後も周知徹底していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		事例集はあるが、活用できていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待チェックリストを年に3回行っている。	虐待研修を年に一回行い、周知徹底を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	個別支援計画を作成、説明の際に確認し、記載している。	